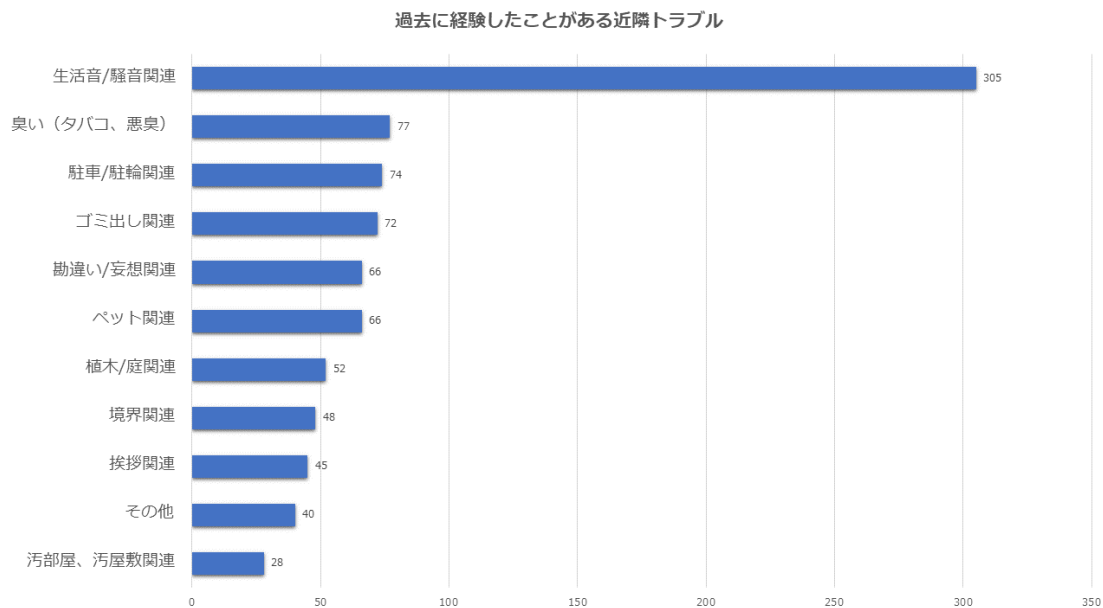


近隣トラブルで圧倒的1位は「騒音」！ さらに近隣トラブルが原因で引っ越した経験のある人は5人に1人も ～解決に至りにくい近隣トラブルの適切な相談先とは～

元警察官による、トラブル解決支援サービスを主要事業として展開する株式会社ヴァンガードスミス(本社:東京都港区、代表取締役:田中慶太、以下「当社」)は、引っ越し・新生活シーズンで多くの人が懸念する「近隣トラブル」に関する調査を行いました。近隣トラブルに遭遇したことがある一都三県(東京・神奈川・埼玉・千葉)20～69歳の男女500名を対象に、経験した近隣トラブルのジャンルやその内容、トラブルに直面した際の相談先などについて尋ねました。

■遭遇した近隣トラブルとして最も多いのは「生活音/騒音」



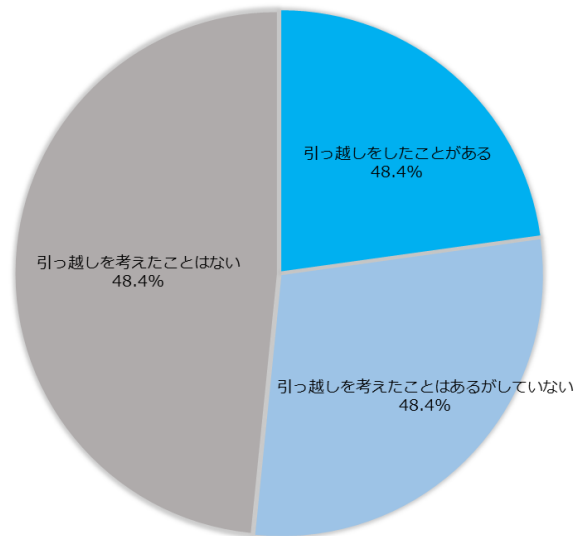
調査の結果、「生活音/騒音」による問題はその他の問題と比較しても61%と圧倒的に多く、近隣トラブルの問題としては最も起こりやすいものであることが分かりました。具体的な内容としては、「深夜に騒がれてうるさかった」、「上の階の子供の歩く音や遅くまで騒ぐ音がうるさかった」など、深夜帯の騒音被害に関するコメントが多く、近隣からの過剰な生活音をストレスに感じている人が多い結果となりました。

それ以外としては、「異なる曜日にゴミを出していた」、「アパートの通路に原付が駐車されていた」といった内容の他、「風呂場の使用時に異常に攻撃音を出す」、「ベランダに物を投げ込まれた」、「下の部屋から天井を突かれた」などのコメントもあり、心理的・身体的に不安を覚えるような経験をしたことがある人もいることが分かりました。

当社近隣トラブル相談窓口でも、約10,000件の相談のうち、約8割が音きっかけによる相談であることから、音の問題は多くの人を経験し、日常的に問題視されるトラブルといえます。

■隣人トラブルが原因で引っ越した経験がある人は5人に1人以上！

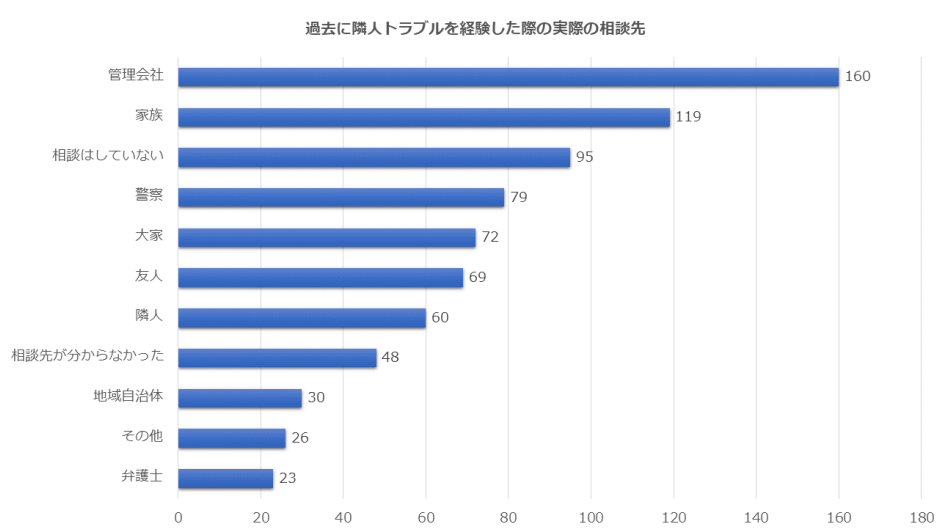
近隣トラブルが原因で引っ越した経験



近隣トラブルを経験した方の内、トラブルが原因で実際に「引っ越しをしたことがある」人は 22.8%も存在することが分かりました。また、「引っ越しを考えたことはあるがしていない」人は 28.8%となっており、「近隣トラブルが原因で引っ越しを検討したことがある人」という観点では、半数以上にものぼることが分かります。

■「管理会社」に相談する人が多い一方で、具体的な問題解決に至らなかったケースも

過去に隣人トラブルを経験した際の実際の相談先



近隣トラブルに遭った人は、相談先としてイメージされやすい「大家」、「管理会社」、「地域自治体」、「警察」、「弁護士」などに相談していることが分かりました。また、家族や友人といった身の周りの人に相談する人も多く存在しており、相談先は個人によって様々でした。

一方で、実際に相談をした人の中でも、「管理会社に相談したが当事者同士での解決を促された」、「警察に相談したが何かあってから言ってくれと言われた」、「10年以上未解決になっている」といったコメントも多く見られるなど、具体的な問題解決に至らないケースが多くあることが分かりました。

また、「相談はしていない（するつもりがなかった）」、「相談したかったが誰にすればよいかわからなかった」と答えた人も一定数存在しており、近隣トラブルの適切な相談先は不明瞭であることが分かります。

現代社会では、近隣トラブルに対する法整備の壁や相談先の不明等により事件防止の観点では具体的な対策が行いにくい分野でありました。そのため、警察などが介入しづらい問題であり、解決に至らないケースがあると考えられます。

■些細なトラブルも気軽に相談できる社会防犯機能の必要性

近年では、近隣トラブルに起因する深刻な傷害事件などが報道されるのを目にする機会も増えてきました。これらの近隣トラブルに起因する事件は、日常の些細なストレスが蓄積され、どこかのタイミングで一方の感情が爆発してしまい事件化してしまうというケースがほとんどです。

今回の調査結果からも分かるように、近隣トラブルに遭った経験がある人は多い一方で、適切な相談先の存在が不明瞭であることがわかりました。近隣トラブルの当事者同士での話し合いは、互いに感情がエスカレートしてしまいトラブルが事件にまでエスカレートしてしまう可能性も含んでおり、事件化のリスクを避けるためにも第三者を介入させ双方の主張をヒアリングし、譲歩・妥協点を見つけ、解決に導くことができる社会機能の存在が非常に重要であると考えられます。

誰もが安心して暮らせる社会を実現するためには、日常の些細な困り事や心配事でも第三者へ気軽に相談でき、トラブルを事件化させないよう未然防止していくことが重要です。

■ヴァンガードスミスのトラブル解決支援サービスとは

元警察官が相談員として、「騒音」「迷惑行為」「近隣トラブル」「つきまとい行為」「SNSによる誹謗中傷」など、「事件未満(事件化前)のトラブル」を解決支援するサービスです。警察官時代に培われた専門的な知識と豊富な現場経験、鍛え上げられたヒアリング能力で、迅速かつ的確に対応致します。

トラブルの芽を摘むため、「気になる」の段階から何度でも相談ができる少額のサブスク式を取り入れており、成功報酬や追加請求はかかりません。現在、住まいに直結する不動産業界向けは「mamorocca」、その他業界向けに「P サポ」としてトラブル解決支援サービスを展開しております。

■株式会社ヴァンガードスミス

代表者 : 代表取締役 田中慶太

所在地 : 東京都港区西新橋 1-1-1 日比谷フォートタワー10F

設立 : 2015年10月

資本金 : 104,700,000円(資本準備金を含む)

事業内容 : トラブル解決支援事業、コンサルティング事業

HP : <https://v-smith.co.jp/>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社ヴァンガードスミス 広報窓口

TEL : 03-6205-7696 mail : press@v-smith.co.jp